

ボサノヴァの巨匠、ホベルト・メネスカル生誕85周年記念アルバム

📅 2023/08/22 14:50:00 📄 PRTIMES_BIZ

🕒 Reading Time: 48 sec. here 🇯🇵 Quality Score: News: 23% Publisher: 51%

日本 見出し ニュース



日本 最新ニュース, 日本 見出し

BACELAR PARTICIPACOES E PRODUcoes ARTISTICAS LTDAのプレスリリース (2023年8月22日 11時48分) ボサノヴァの巨匠、ホベルト・メネスカル生誕85周年記念アルバム

ホベルト・メネスカルによる彼にしか出せないギターの音色に加え、ピアニストのチオゴ・モンゾ（ピアノ、キーボード）、マルチ・インストゥルメンタリストのヒカルド・バセラル（ピアノ、キーボード、パーカッション）が参加し、それぞれ編曲も担当しました。

本作は、ボサノヴァのレジェンドであるホベルト・メネスカルの85歳の誕生日を記念したアルバムで、収録曲の「Bye Bye Brasil」（作：ホベルト・メネスカル／シコ・ブアルキ）には、特別ゲストのレイラ・ピニエイロがヴォーカルで参加しています。本作には、ホベルト・メネスカル自身が、ホナウド・ボスコリと共に生み出した名曲の数々のインストゥルメンタル・バージョンが主に収録されています。「このプロジェクトは、文化プロデューサーのフェルナンダ・キンデレがレーベルに持ち込んだ提案から生まれました。当初はインストゥルメンタルのアルバムをレコーディングする予定でしたが、3曲のヴォーカル曲も収録することになりました。このアルバムはメネスカルへのオマージュとして企画したもので、彼をここフォルタレーザの私のスタジオに迎えることができたのは嬉しいことでした」とヒカルド・バセラルは語ります。自身が設立したレーベル、ジャスミン・ミュージックで、バセラルが本作『Nós e o Mar（ノス・イ・オ・マル）』をキンデレと共にプロデュースしました。※特別ゲスト参加・ヴォーカル：レイラ・ピニエイロ

ブラジル音楽界が誇る、ホベルト・メネスカル、チオゴ・モンゾ、ヒカルド・バセラルの3人のミュージシャンが共演したカバーアルバム『Nós e o Mar（ノス・イ・オ・マル）』（二人と海）の配信が、デジタル・プラットフォームでの配信に加え、CD版でも発売されます。は次のように語ります。「ヒカルドが僕を招き、みんなで選曲を考えたら。ヒカルド、チオゴがいくつか提案し、僕も案を出した。アルバムのレコーディング中に生まれたアイデアもある。ヒカルドが、この僕が歌うというアイデアを出したんだ。」これは、本作の最大のサプライズ要素になっています。「僕はヒカルドに、本気かい？って聞いたよ。でもいい雰囲気だったから、結局、「O Barquinho」と「Ah! Se Eu Pudesse」に僕のヴォーカルを入れたんだ」とホベルト・メネスカルはユーモアたっぷりに振り返ります。これにより、本作『Nós e o Mar...

WhatsApp f Twitter in ✉

コメントを書く

Writer:

このニュースをすぐに読めるように要約しました。ニュースに興味がある場合は、ここで全文を読むことができます。続きを読む:

Business PR TIMES PRTIMES_BIZ / 🏆 115. IN JP

日本 最新ニュース, 日本 見出し

Similar News: 他のニュース ソースから収集した、これに似たニュース記事を読むことも

「THQ Nordicデジタルショーケース 2024」が8月3日4時から開催決定！新作タイトルのアップデート情報などを公開



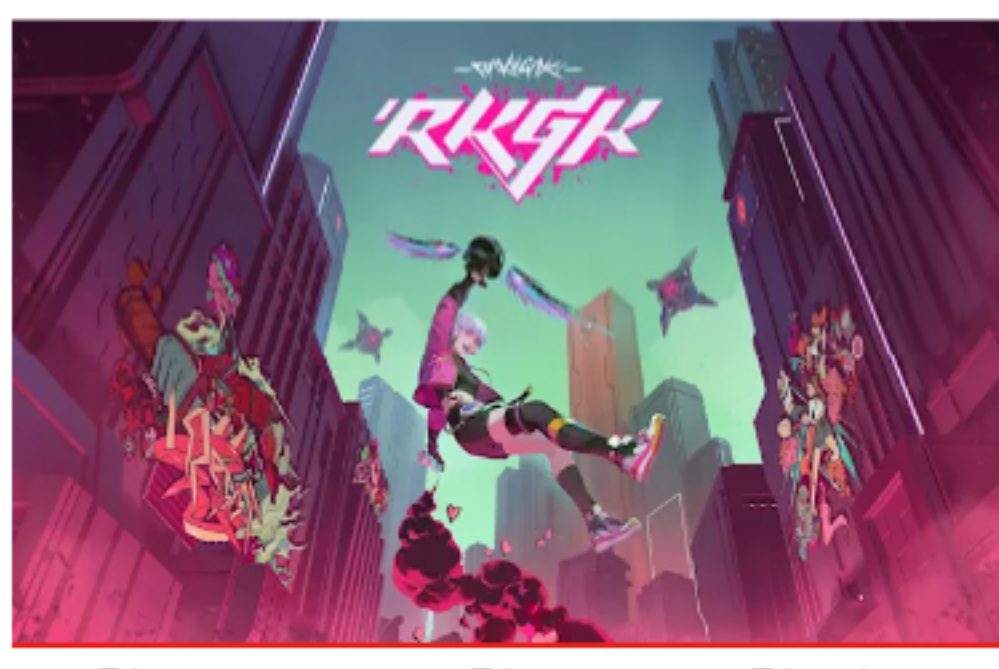
イスラエルの教訓 中朝にらみ日米で集团的抑止力の信頼性を向上 エマニュエル駐日米大使 寄稿全文



「hide Memorial Day」豪華ゲストが続々登場！hide名曲を歌いつなぎファンと合唱（ライブレポート/写真5枚）



〈那須2遺体〉事件後「体調が悪い」とウソをつき地元福岡に“逃亡”していた「アキキ」は“宝島ロード”のキャッチだった！彼が沖縄にいた本当の目的と、未読のままだったLINE（集英社オンライン）



「Believe -君にける橋-」陸の部下・本宮絵里菜（山本舞香）の橋に注目集まる「敵か味方が...」「裏切るパターン？」



日テレ東京V 藤野あおば、後半43分と真ん中強烈PK決勝弾...男女五輪出場決定に「刺激」切磋琢磨誓う



日テレ東京V 藤野あおば、後半43分と真ん中強烈PK決勝弾...男女五輪出場決定に「刺激」切磋琢磨誓う（2024年5月2日） | BIGLOBEニュース



藤原紀香 桂由美さん追悼 1186文字の長文で思いつづる 夫・愛之助とともに「感謝でいっぱい」



スペースフードホールディングスは「SPACE FOODSPHERE」プログラムに参画し、宇宙と地球上における発酵技術、医療技術、養殖技術の開発を推進します



マコトロクサノホコ豪快差し切りで東京ダービー切符、本田正騎手「信じて乗りました」/東京湾C

